

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 1月 9日 更新

事務事業名		健康づくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	齋藤 和広
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂井 晴代
	施策の柱	19	病気になるらない生活習慣の確立			所属班	健康政策班	(内線)	1637
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番 11575	根拠法令	健康増進法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	1. 地域の身近な場所で継続して健康づくりを実践できるよう拠点地区での教室実施 (こうし健康ステーション) 2. 行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの定期学習会 (健康づくり推進員) 3. 職員が地域に出向いて健康教育を行なう (出前講座) 4. 健康づくりの必要性について考える機会として実施 (健康づくり講演会) 5. 会の開催 (健康づくり推進協議会)
【業務の流れ】	1. 健康づくり拠点地区事業 ①委託先の選定・契約 ②拠点地区の選定 ③委託業者との打ち合わせ ④参加者の募集 ⑤実施 ⑥評価 ⑦教室サポーターの養成 ⑧自主活動フォローアップの実施 2. 健康づくり推進員学習会 ①企画 ②推進員への通知 ③準備 ④実施 ⑤他の事業との連携・調整 3. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 4. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価 5. 健康づくり推進協議会 ①委員の選定 (市民代表を含む) ②委員の委嘱 ③協議会の運営 ④会議録の公表 ⑤報償費・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報償費 委託料
【意見や要望】	・議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。 ・健康ステーションに参加する市民からは、定期的に健康づくりを継続できる環境があるのはありがたいと意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	・こうし健康ステーション(泉ヶ丘、すずかけ、須屋)として活動した(86回開催、延人員2,621人)。健康ステーションサポーターフォローアップとサポーター養成研修を11~1月のフォロー日に実施した(6回開催、延人員198人)。 ・健康づくり推進員の学習会3回、及びボランティア活動を1回実施した。(延人員56人)。 ・健康教育出前講座を実施した。(8回開催、人員203人)。 ・健康づくり講演会は、糖尿病に関する内容でH31.1、2月に実施(2回、延人員45人) AGESに関する内容で2月に実施(1回、延人員116人)。 ・健康づくり推進協議会を年2回開催。1回目は9月に開催しデータヘルス計画、ウェルネス、ウォーキング大会について報告、2回目は3月に開催し見える化事業、事業報告などについて報告(延人員26人)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 事業の継続 ・健康ステーションサポーターのフォローアップ研修を実施し、各ステーションの活性化、フォローを行う。 ・特定健診結果にて要治療域であるが、治療していない人を対象に結果を手渡しし、直接説明を行う。 ・健康づくり推進員の活動の活性化するため、ボランティア内容など検討する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 教室の実施回数	回	健康づくり推進協議会の開催回数減に伴う報償費の減及び健康教育実施内容の変更に伴う使用料及び賃借料の減
イ: 参加者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	人	→ ア: 市民の数(人口)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市民が健康づくりに関心を持つ。自分の健康を保持増進できるよう行動できる。	%	→ ア: 日頃から健康づくりに取り組んでいる市民の割合
	%	→ イ: 身体を動かすことを心がけている市民の割合
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2次基本構想第1期基本計画に基づき設定している。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア 回		101	124	120	109	110	110	110	110	
	イ 人		2,363	3,317	3,000	3,266	2,900	2,900	2,900	2,900	
② 対象指標	ア 人		60,100	61,652	61,500	62,343	62,000	62,925	63,600	64,614	
	イ %		22	39.6	40	36	40	40	40	40	
③ 成果指標	ア %		37.9	76.3	60	68.3	68	70	70	70	
	イ %										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円				47	47	47	47	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	3,033	1,198	1,331	1,091	1,217	1,320	1,320	1,320
		(A) 事業費計	千円	3,033	1,198	1,331	1,091	1,264	1,367	1,367	1,367
		(A)のうち指定経費	千円	0	6	10	0	7	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	10	10	3	6	4	4	4	4
人件費	延べ業務時間	時間	2,405	2,102	2,000	1,270	1,250	1,250	1,250	1,250	
	(B) 人件費計	千円	0	8,315	7,968	5,006	4,980	4,980	4,980	4,980	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,033	9,513	9,299	6,097	6,244	6,347	6,347	6,347	

事務事業名	健康づくり事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】健康ステーション、健康づくり推進員の維持、活性化に向けて、検討していく。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】健康づくり講演会では、生活習慣改善の優先度が高い対象者に個別にアプローチしており、すでに効果の向上を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 こうし健康ステーションなど内容次第では、高齢者支援課との連携の可能性も考えられる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】最低限の事業費を充てている。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】こうし健康ステーションなど、市が行っていた役割をステーションサポーターに一部担っていただくなど役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

健康ステーション、健康づくり推進員は参加者の年齢が上がっており、運営や内容の検討が今後必要と考えられる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>定期的な学習会やフォローアップを行い、事業の維持・継続に努める。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>参加者の年齢を考慮し、無理なく活動が継続できるようにする必要がある。特に健康ステーションでは、参加者自らが体調管理や環境整備ができるように支援していく。</p>																						